

◆ニックネーム・グループ名（人数）

m (1 人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 夜ご飯の残り物

活動の動機

私の家では、夜ご飯のおかずが残ってしまうことが多いと感じ、そこで、前日に残ったおかずをお弁当に入れれば捨ててしまうこともなくなり、SDGsにも貢献できるのではないかと考えました。



取組・活動 実施日

令和3年8月1日から令和3年8月20日

ゴール

2

解決したい地域の課題

お店の売れ残ったお惣菜や、家で作ったおかずの残り物を捨ててしまっていることも少なくはないと思います。これを、少しずつでも無くしていきたいです。

目指す将来の姿

どうしてもおかずが残ってしまうことはあると思いますが、すぐに捨ててしまわず、次の日にアレンジを試みたり、私たちのような、毎日お弁当が必要な人は、お弁当のおかずにしたり、一人一人が少しずつ工夫をして食品ロスを減らしていきたいです。

活動の内容

初めに、1週間にどれくらいの日数おかずが残っているのかを調べました。結果として1週間に3日くらい残ってしまっていて、味噌汁やスープが多かったです。ちょうど夜ご飯がオムライスで、ケチャップライスが残っていた時、部活でお弁当が必要で実行しました。お弁当に入れたことで捨てることはありませんでした。また、作り置きのおかずをいれていてこれも保管ができ、残ることが無いので良い事だと思います。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

a (1 人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

フェアトレードで貧困をなくす

活動の動機

テレビで流れていた貧困で苦しんでいる人、小さい子供が労働を強いられているという内容のCMを見たことと、授業でフェアトレード商品について学んだ事を思い出してSDGsに繋げようと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月26日から令和3年8月30日

ゴール

1 2

解決したい地域の課題

貧困で苦しむ人々が安定した収入を得られるような対等なパートナーシップをつくる。子供たちが働かなくてもいい暮らしにする。

目指す将来の姿

開発途上国で暮らす人々の生活と労働を改善し、貧困をなくす。適正な価格で取引し、安定した収入を得られるようにする。

活動の内容

5日間に行ったスーパーやコンビニでフェアトレード商品を探し、購入する。ただしわざわざ探しに行くのは禁止という計画を行った。計7店舗に行き購入できた商品は3つだけだった。手軽に行くことが出来るコンビニには1つもなく、スーパーにはチョコレートやコーヒーがあったものの約600円～約800円などと値段が少し高く、フェアトレードと意識しないと簡単に快く購入することは難しいかと思った。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

あああ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食べ物の大切さを改めて知る

活動の動機

ニュースで、食品ロス、食品排気量が年々増えていることを知り解決していくべきだと思ったし、意識すれば、誰でも減らすことができると考えたから。



取組・活動実施日

令和3年7月25日から8月15日

ゴール

12 2 15

解決したい地域の課題

まずは、家庭での食品ロスの量を減らすこと。コンビニエンスストアやスーパーで廃棄が出ないように生産量を減らすなど。

目指す将来の姿

誰もが、食べ物のありがたさを知り、ロスが出ないためには、どのような工夫が必要かを考えられる人が増えること。

活動の内容

25日から15日までの間で鞘位を育てる。5日に一回食品ロスの量を測り、食品ロスが出てしまった原因と解決方法について考える。自分の作った野菜で料理を作る。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

多重影分身ども（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

死因が「飢餓」にならないために

活動の動機

中学の国語の教材で取り上げられているイースター島の文明の崩壊についての説の一つ、人口爆発によって島の資源がなくなり、滅亡した。という話が現代の地球にも当てはまるのではないかと思い、活動を始めました。



取組・活動実施日

令和3年7月25日から令和3年8月25日

ゴール

2 1 7

解決したい地域の課題

日本では年間約600万トンの食品ロスを出してる。

目指す将来の姿

現状の食品ロスなどの資源の無駄遣いをなくし、必要な量に対して生産が足りなくなる未来を阻止する。

活動の内容

今回は資源の中でも食料について取り扱っていく。食品ロスについての現状や食品ロスを減らすためにできることの知識をつけ、その知識をもとに、実際にできることを実行して、持続可能な社会を作り上げるのに少しでも貢献する。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

人や町、地球に優しい消費とは

活動の動機

私たちが普段買っている商品は、どれも誰かがどこかで作っていますが、どのように作られたものなのかその背景は簡単には分かりません。買い物という日常的な活動から、SDGsに繋がることを考えようとおもった。



取組・活動実施日

令和3年8月19日から令和3年8月24日

ゴール

2 12

解決したい地域の課題

人や社会、環境・地域のことを考えて、ものを買う行為=「エシカル消費」についてひとりひとりが考えること。

目指す将来の姿

買い物をするときに、本当に必要なものなのかを考えて買うようにして、食品ロスやごみを減らす。エシカル消費を心がけて、人や社会、環境・地域に配慮した商品を選ぶ人が増えれば、そうした商品をつくる生産者が増え、社会が豊かで持続可能なものになっていく。

活動の内容

普段使わないものを買っても意味がないので、母が定期的に購入するコーヒー類とチョコレートなどを購入してみることにした。今回は、コロナ禍なので、インターネットで購入してみた。フェアトレード商品は、一般の低価格の商品に比べて値段が高かった。自分はコーヒーがあまり好きではないので、母に飲んだ感想を聞いた。すると、「味はとても美味しかったので、SDGsに取り組むつもりで時々購入したい。」と言っていた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ウンチ （ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品ロスを無くすために。

活動の動機

日本では食品ロスがたくさん出ていて、その半分が家庭から出る食品ロスであり、自分には出来ることはないかと思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月3日

ゴール

2

解決したい地域の課題

食品ロス

目指す将来の姿

食品ロスを多くの人を知っていて、対策している。

活動の内容

食品ロス対策であるリメイクレシピや自分たちに出来ることを実践する

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ハリネズミ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

家庭からの食品ロスを減らそう

活動の動機

世界の約9分の1（8億）の人が栄養不足の状態だということを知りなぜこのようになってしまったのか疑問に思いました。これは食品ロスに繋がっていると知り、私でもできることをしたいと思いました。



取組・活動実施日

令和3年8月1日から令和3年8月15日

ゴール

12 2

解決したい地域の課題

国内での食品ロスがとても多く、企業だけでなく家庭からの食品ロスの量もとても多い。食べずに捨てたり残して捨てたりすることが多いのを1番に減らす。

目指す将来の姿

まず国内の食品ロスの量を2030年度までに半減させる。そして、どの企業も消費者も食品ロスを減らす取り組みをする事が当たり前できるようにし、世界中の人々が楽しく十分な食事をする事ができるようにする。

活動の内容

2日に1回冷蔵庫に残っている食材で1品作りました。1日目は食パンが残っていたのでフレンチトーストを作りました。蜂蜜が無かったのでシナモンシュガーをかけました。2日目はキャベツがたくさん余っていたのでハムなどを混ぜコンソメスープを作りました。3日目はバナナジュースを作り4日目は残っていた唐揚げを割きキムチときゅうりと調味料でささみきゅうり風の物を作りました。5日目に納豆を混ぜたオムレツを作りました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル フェアトレードについて

活動の動機

フェアトレードの取り組みはSDGsが掲げる17の目標の多くに関係しているからです。自分たちは恵まれていることを自覚したら苦しんでいる方々を助けるべきだと思ったからです。



取組・活動実施日

令和3年8月30、31

ゴール

1 2 16

解決したい地域の課題

フェアトレードの取り組み国であるアフリカや中南米の貧困状態をなくすこと。1番は児童労働がなくなり子供が学校に通えるようになること。そして働く環境をよくし、生活水準を上げること。

目指す将来の姿

日本国民がフェアトレードに詳しくなりその商品を買ひ、でたお金でそれぞれの取り組み国の課題をなくすこと。1番は児童労働がなくなり、子供が皆学校に通えるようになること。他には途上国の働く環境がよくなり、生活水準がたかまることだ。

活動の内容

フェアトレードを取り組んでいるアフリカや中南米が何を目的としていたやっているのかを調べた。児童労働をなくすことや働く環境をよくするなど日本ではもう当たり前と思うようなことを目的としていた。だから貧困の方達を助けるべきだが、日本は年間一人あたり約90円しか商品を購入していないという結果がでた。そして少しでも力になる為にフェアトレードの商品を購入した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

谷川友希乃（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

野菜の捨てる部分だけで料理してみた

活動の動機

「食品ロス」が今世界で深刻化していることをテレビや新聞で取り上げているのを見て知ったのと、「食品ロス」は日々の食事とつながっていて、食事という分野なら自分が世界の将来のためにできると思ったから。



取組・活動実施日

令和3年8月14日

ゴール

12 2

解決したい地域の課題

食べ残しやまだ食べられるのに捨ててしまってゴミが増えていると思うので、ゴミの量を減らすことだと思います。

目指す将来の姿

食べ残しやまだ食べられるのに捨ててしまっているものを無くすことと、世界で飢餓で苦しんでいる人たちの数を無くすことだと思います。

活動の内容

野菜の、普段は捨ててしまっているところを集めて一品を作りました。今回はダイコンとニンジンをおむいた時に出てくるダイコンとニンジンの皮を使ってきんぴらを作りました。皮をよく洗って、ダイコンとニンジンの皮を細切りにし、フライパンで炒めたら調味料と混ぜ合わせて完成しました。実際に食べてみると、少しかたくて、ざらざらした感じがしました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ひこにん（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

貧困をなくそう

活動の動機

貧困で困っている人が世界で7億人を超える人がいるということをインターネットで知り、少しでも困っている人の助けになれたらと思ったのでこの活動を選びました。



取組・活動実施日

令和3年8月24日

ゴール

1 2

解決したい地域の課題

日本は貧困で困っている人はあまりいないけど、アフリカなどの国では困っている人が多いので困っている人を助ける活動をする。

目指す将来の姿

貧困で困っている人をなくし、助け合う将来。

活動の内容

まずは、貧困について調べてみました。貧困状態の人は一日約1.25ドル未満でくらしているそうです。そこで私が調べようと思ったのはフェアトレード商品です。見なれないマークかと思いますが、これは、阻害された生産者と労働者の権利と生活を保障する事を目的とされたものです。このマークがついた商品はコーヒーや紅茶、チョコレートなどがあり、スーパーやコンビニなどに売られていました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 不平等をなくそう

活動の動機 私は外国にも興味があり、日本の不平等だと言われることも知りたいと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月26日

ゴール

10 1 2

解決したい地域の課題

日本は所得格差が結構あること。

目指す将来の姿

どんな人でも平等にすごせるようになる。
 国の間での不平等も無くす。日本の所得格差を拡大させないようにする。

活動の内容

スーパーやコンビニにある募金箱に募金をする。
 手話や点訳、音訳、要約筆記などを学ぶ。
 国や人種、障害の有無、性別の違いなど、それぞれの違いを認めあって、理解する。
 ニュースをよく見る。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 食品ロス削減のためにできること**活動の動機** 食はSDGsのゴールの中で1番身近な問題で、自分が少しでも意識すれば目標達成に少しでも貢献できると思ったから。**取組・活動実施日**

令和3年8月22日から8月29日

ゴール

2

解決したい地域の課題

食品ロスをできるだけ少なくして食品ロスを可能なかぎりなくしてSDGsのゴール2の飢餓をゼロに貢献する。

目指す将来の姿

食品ロスを可能なかぎりなくしてSDGsのゴール2の飢餓をゼロにを達成する。飢餓で命を落とす人がいない世界でみんなが笑顔で暮らせる。

活動の内容

食品ロスの世界の現状、原因、削減が必要な理由について調べる。
食品ロスを減らすためにできることを実践する。くず野菜で出汁をとって料理する。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

りよーまぁ （ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 捨てちゃうところまで食べちゃおう！**活動の動機**

家族と一緒に料理をしていて、結構野菜って捨ててしまう部分がいっぱいあるんだなぁと思って調べてみると、色々な問題があることがわかったため、それを1つでも無くせると思ったから。

**取組・活動 実施日**

令和3年8月3日から令和3年8月20日

ゴール

2 3 15

解決したい地域の課題

日本の家庭では日々家庭ゴミが排出され、そのうち「食品ロス」と呼ばれるようなゴミは年間約600万tにもなる。これは2019年の飢餓で苦しむ人々への食料援助量の1.4倍にもなる。

目指す将来の姿

地域の人々がみんな無駄のないように気をつけ、まず自分たちにできることは何かかんがえ、行動するような社会。自分たちが生きていくためだけに資源を使うのではなく、未来の世代たちも豊かに生活していけるように資源を使うような社会。

活動の内容

世界の飢餓の現状、日本の食品ロスの現状などを調べた。その、食品ロスの原因の一つとなる生ゴミを減らすにはどうしたら良いか考えた。そこで、いつもなら捨ててしまうような野菜の部分を使って料理をした。今回はごぼうを皮ごと使ってごぼうの唐揚げを作った。調味料なども、捨ててしまう量を最小限にすることを第一に考えながらレシピを考えた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ぼんすけ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食べ物を無駄にしない

活動の動機

僕の祖父がさつまいもを作っていてその時に商品にならない物を捨ててしまうのがとてももったいないと思ったのでやろうと思いました。



取組・活動実施日

8月30日

ゴール

2

解決したい地域の課題

日本はとても豊かになりましたがそれでもまだ食べ物に困っている人がいると思うのでそういう人に捨ててしまうまだ食べれる物を与えればいいと思います。

目指す将来の姿

将来は世界の今食べ物がなく困っている人々に食べ物が行き渡るようになりそういう人々が減って行って世界中の人々が食べ物を無駄にせずそしてスラム街などの困っている人達に分け与えみんなが協力していけるようになってほしいです。

活動の内容

まず、僕の祖父が作っているさつまいもで商品にならない物を僕がもらってそれを家で鬼饅頭にして食べてもらうことでそういうようなしょくざいでもちゃんと料理にあらんだと思ってもらいさらに、それを食べて家族に美味しいなどの褒め言葉をもらうことで僕の家族の団欒ができそしてこれらの言葉を紙にまとめて学校に提出する。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ほらせん（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品ロスを減らす

活動の動機

high school times で食品ロスの問題について読んだのとテレビで飢餓についての宣伝を見たから



取組・活動 実施日

令和3年8月27から令和3年8月28日

ゴール

2

解決したい地域の課題

食品ロスが多いとおもうので、食品の残り物が減るようにしたい。食品を大切にできるようにしたいので残り物を減らす。

目指す将来の姿

食品ロスを減らす活動を実践することによって食品ロスを減らすことができると思う。食品ロスを減らして残り物の少ない将来の姿を目指したい。食品ロスを減らすことでもったいないことがへるような将来にしたいと思う。

活動の内容

前日のご飯の残り物を調べどのくらいあるかも調べる。その残り物を使ったアレンジ品を考える。アレンジ品はジャーマンポテトとひじきの卵焼きとサラダのサンドウィッチとスクランブルエッグのサンドウィッチを作る。ハッシュドポテトをつぶしてウインナーとまぜていためる。卵にひじきを混ぜて焼く。パンにサラダとスクランブルエッグをはさんで盛り付ける。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

脱食品ロス

活動の動機

この夏開催された東京オリンピックで約13万食の弁当が廃棄されたとニュースで聞いた。さらに世界の飢餓地域への食べ物の援助量の1.5倍ほどの食料が捨てられているとわかったから。



取組・活動実施日

令和3年8月1日

ゴール

2 12 11

解決したい地域の課題

家庭での食品廃棄量が食品ロス全体の約半分を占めている。なので家庭での取り組み次第で食品ロス問題は改善されていこう。家庭での食品ロスを解決したい。

目指す将来の姿

食べ物が捨てられることのない無駄にゴミが増えない社会。飢餓地域への食品援助量が増えて飢餓で困る人がいない社会。各家庭で廃棄量が少なくなるような取り組みを行なって着実に食品ロスが減少している社会を目指したい。

活動の内容

食品ロスを減らすために普段捨てられる食材を調理してまた食べたくなるような料理にする。そこ普段なにかと捨てられるパンの耳を使用する。パンの耳はパサパサしているや固いなどと嫌いな人が多いだろうそこでチョコレートで甘くしてラスクみたいにして食べやすくすることでパンの耳が捨てられないようにする取り組みを行った。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

日頃でてる生ごみの利用

活動の動機

世界には、日本のように、資源や食料に困らない国があれば、反対に、貧困により食料がなく、飢餓などでたくさんの人がなくなっている。これらの事をふまえて私たちが行動しないとイケないと思った。



取組・活動実施日

令和3年7月28日から令和3年8月13日

ゴール

2 15 11

解決したい地域の課題

近年はどの地域でも、少子高齢化が進んでいる。私の住んでいる市には周辺地域の中核である大きな駅があり、学校も沢山あるが、地域内での、お年寄りとお子さんの交流する機会がないこと。

目指す将来の姿

今回の生ごみの利用などをさらに活用することなどで、ゴミを扱う大変さを知り、これからは心に余裕をもって街中におちているお菓子のごみや落ち葉などを積極的に拾い、公園などを、子どもたちが遊べるような環境を作り、地域の活性化をしていきたいです。

活動の内容

7月28日から8月3日の1週間にでる生ごみの量を8月4日から8月10日の1週間で、約半分にまで減らすことを目標に、排出した生ごみを効率よく、無駄がないように利用する方法を考え、実行した。

例えば、「卵の殻を、粉々に砕いてベランダでそだてているいちごやトマト、その他植物の植木鉢の土の中に混ぜることで、肥料として使う」などをすることで、ゴミの排出量を減らしてゴミを焼却する費用が抑えられるなど。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 食品ロス防止

活動の動機 よく家に賞味期限切れの食品や飲み物がありそのままにしておいて捨ててしまうことがあるから。食品ロスが多いことを知ったから。



取組・活動実施日

令和3年8月31日

ゴール

2

解決したい地域の課題

ゴミの分別。豊橋市では生ゴミの分別もあって大変かもしれないけど生ゴミで捨てればエネルギーとして再利用することができるから。

目指す将来の姿

賞味期限切れになる前に美味しく食べ、食べ残しがないようにして家庭での食品ロスを少なくする。これをみんながすることで家庭での食品ロスが大幅に減少する。フードバンクを利用して食料を必要としている人たちに届け飢餓を少なくする

活動の内容

家にある食品や飲み物の賞味期限をチェックする。賞味期限が切れているものや賞味期限が近いものから食べるようにする。賞味期限が近いものから手に取れるように棚の中を整理する。（賞味期限の近いものを棚の手前の方に置く。など）棚の中を整理してみて同じものが何個もあったりしたので母にまだあるのに買わないように気をつけてもらう。よく買うものは家に何個あるのかを把握できるように工夫する。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

野菜の皮を使って食品ロスを減らそう

活動の動機

夏休み課題のハイスクールタイムズで食品ロスについての記事があり興味が出てきてその中の家庭の中で1番多い過剰除去を減らそうと思ったからです。



取組・活動実施日

令和3年8月22日から令和3年8月29日

ゴール

12 2 1

解決したい地域の課題

近年食品ロスの量が増えてきている。日本でも612万トンの食品ロスがある。その中でも家庭で出ている食品ロスは過剰除去が1番多い。実際に野菜の皮をむきすぎている人も多い。

目指す将来の姿

食品ロスを減らすこと。さらに食品ロスを減らすことによって今まで食料がなくて食べられなかった人達にも食べ物が届けられるようにすること。食べ物が届けられることで飢餓をゼロにする。また食品ロスによって生まれたゴミを処分するのに必要な費用を減らす。

活動の内容

一つは人参パウンドケーキを作りました。ホットケーキミックスを使うことによって料理初心者の人でも簡単に作れると思います。実際に皮ごとすりおろした人参を材料と混ぜ合わせてオーブンで焼くだけで出来上がります。人参が入っていることで砂糖少なめでも十分に甘さがあります。2つめはきんぴらごぼうを作りました。こちらはごぼうと人参を皮付きのまま使いました。皮付きのため素材の味がしっかり残っていて美味しかったです。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

okd (1 人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品ロス削減

活動の動機

夏休みの宿題をきっかりに世界の9人に1人以上が飢餓に苦しんでいるのに日本人は毎日1人あたりお茶碗一杯分のご飯の量を捨ててることを知り身近な食品ロス削減に取り組みたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月25日から令和3年8月26日

ゴール

2 12 14

解決したい地域の課題

毎週出されるゴミが多いと思った。各家庭が気をつけて少しでも食品ロスを減らせればもっとゴミも減ると思う。

目指す将来の姿

日本は大量の食品を輸入して捨てているので、日本人の一人一人が少しでも食品ロスを意識して減らしていけば、飢餓に苦しむ人に食品がまわり、さらにゴミ処理にかかる費用やエネルギーを減らせると思う。他にも廃油を再利用する事で川や海を汚さない様にもしたい。

活動の内容

野菜くずを出さない様に皮ごと食料を使ってカレーを作る。皮には栄養があって煮込めば食べられると分かったので、しっかり煮込める様に圧力鍋で作った。唯一食べられないと思った玉ねぎの皮は土に埋めて肥料にした。米の研ぎ水も植物の水やりに再利用した。他にも食用廃油がそのまま川や海に流れ出た場合、魚が住める水質に戻すのに150倍程度の希釈が必要だと知ったので、揚げ物で出た廃油はアロマキャンドルにリサイクルした。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

皮まで調理

活動の動機

夏休みに食品ロスについての記事を読み、企業や店舗からまだ食べられるのに捨てられている食品がたくさんあると知り、家庭や私でも何か出来ることはないのかなと思ったため、この活動をしようと思いました。



取組・活動 実施日

令和3年8月15日から令和3年8月19日

ゴール

2

解決したい地域の課題

企業や店舗、家庭などからたくさん捨てられている、まだ食べられる食材を少しでも減らし、ゴミを減らすことです。

目指す将来の姿

私が目指す将来の姿は、世界中の誰もが、おなかいっぱい、満足するまでご飯を食べることが出来て、世界中のみんなが、食べ物を大切に、無駄にすることなく、今よりも食品ロスが少なく、世界から笑顔があふれているような姿です。

活動の内容

タイトルにあるように普段は調理の際に捨てられていることが多いニンジンをはじめとした野菜の皮を使った、料理を作ります。そして、それらをスープなどに活用することで最後まで、柔らかく、美味しく食べることができます。また、スープは食べ進めていくと量が減り、だんだんと味が濃くなることがあるので、最初は薄く味付けをしたりします。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

飢餓をなくすために

活動の動機

夏休みの課題で配られたニュースクールタイムズで食品ロスについての記事を読んで食品ロスをなくすことは飢餓を無くすことにつながるのではないかと思い、興味を持ったから



取組・活動実施日

令和3年8月20日

ゴール

2 12

解決したい地域の課題

もっと一人一人が食品ロスについての感心を持ち、それについての対策などを知り、実行する。

目指す将来の姿

もっと一人一人が食品ロスについての感心を持ち、対策して、食品ロスの削減に努めて、国の負担を減らし、そのお金を貧困に苦しんでいる国に送り、飢餓を減らしていつかゼロにし、世界中の人たちが毎日安心しておいしい食事をできるようにしたい。

活動の内容

インターネットで飢餓について調べ、SDGsが勧めている活動や自分でもできそうなものを探しだし、実行した。
自分がしたのは、賞味期限と消費期限の違いを知ったり、買い物をするときなるべく期限の長いものを買ったり、必要とする最低限の量を買ったり、残ってしまった食事をとっておいたり、できるだけ残さないようにしました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

メメ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

つくる責任つかう責任

活動の動機

- ・フードロスについての新聞記事を読んで日本は今深刻な状況にあるのだと知ったから
- ・ゴミの分別も大切だと思ったから

取組・活動実施日

令和3年8月31日



ゴール

12 14 2

解決したい地域の課題

1人あたりのまだ食べられるのに捨ててしまう食品の量を減らす

目指す将来の姿

- ・1人あたりのフードロスの量を減らす
- ・ゴミの分別を一人ひとりが意識して、3Rに取り組めるようにする

活動の内容

- ・一日あたりどのくらいの生ゴミが出たのかを調べた
- ・汚れが取れないもの以外のゴミの分別をした

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品ロスの削減

活動の動機

- ・家の冷凍庫に使わずにとってある食品がたくさんあったから。
- ・冷凍庫の食品を使えば食品ロスの削減につながると思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月20日

ゴール

2 12

解決したい地域の課題

- ・コンビニなどで購入した弁当のゴミなど、食品ロスにつながる食べ物のゴミが捨てられていること。
- ・自分の家庭での食品ロスが思っていたよりも多いこと。

目指す将来の姿

- ・食べ残しなどを無くし、家庭から出る食品ロスの量を毎日0にする。
- ・世界全体の食品ロスの量から見ればごく少量でも、自分から確実に少しはその量を減らす。

活動の内容

- ・冷凍庫に余っている食品の中で、何の種類が多いのかを調べた。肉類や冷凍食品などの弁当でよく使う食品が多く入っていた。
- ・いつ冷凍庫に入れたかが分からなくなってしまっていたから、冷凍庫に食品を入れる際、日付を書いた付箋を貼ることにした。
- ・冷凍庫に多く余っていた肉類、冷凍食品、ご飯などを使って昼ごはんを作った。放っておいたら捨ててしまう食品をたくさん使ったため、食品ロスの削減につながったと思う。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

食品ロス削減を目指して（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品ロス削減を目指して

活動の動機

いつもお中元やお歳暮の時期になると、親戚や友人からお菓子などが送られてくるけど結局全部食べることができず廃棄するしかないからもったいないと思っていたところ、豊橋市で食品の寄付を行っていることを知った。



取組・活動実施日

令和3年8月26日

ゴール

2

解決したい地域の課題

コロナの影響で生活するための収入が減少し、生活が苦しい生活困窮者が増えたため、十分な食事をとることのできない人も増加しているのではないかと思います。そのような人達のためにも何か対策を考えるべきだと思った。

目指す将来の姿

世界の9人に1人、約8億人が飢餓に、4人に1人が深刻な栄養不足状態にあり、世界で最も飢餓状態の人の多いアフリカの飢餓人口は2018年時点で2億5,610万人に及び、現在も増加傾向にあります。1人が頑張ったところで大きな変化をもたらすことは不可能ですが、飢餓状態にある人を1人も多く救いたいです。

活動の内容

まず、家にある食品の整理をしました。寄付ができるのは、賞味期限が2ヶ月以上のお菓子や飲み物、お米、調味料、保存食のため、賞味期限が2ヶ月以上で、なおかつ家族が誰も食べることのないだろうお菓子類を分けました。分けてみると、kg単位でお菓子が余って、正直びっくりしました。集まったお菓子類はあいトピアに持っていき、寄付しました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

りゅー（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 無駄をなくそう

活動の動機 普段生活している中で、無駄になってしまっているものが沢山あり、それを無くしたいと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月20日

ゴール

7 2

解決したい地域の課題

無駄なエネルギー消費や食品の廃棄なくし、沢山のものがしっかり有効活用されること

目指す将来の姿

エネルギー消費量が今よりも減り、家庭から出るゴミの中での食品ロスの割合を少なくして、良いサイクルが回っている

活動の内容

家の中ではエアコンの温度を下げ電力消費量を減らし、使っていないコンセントを抜いて待機電力を無くしたりして、あとは手を洗う時などは水を出しっぱなしにしないようにして、節水、節電に取り組んだ。そして、冷蔵庫に入っていた期限が近いものを使って料理をして、廃棄されてしまう量を削減した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

はっぱん（4人）

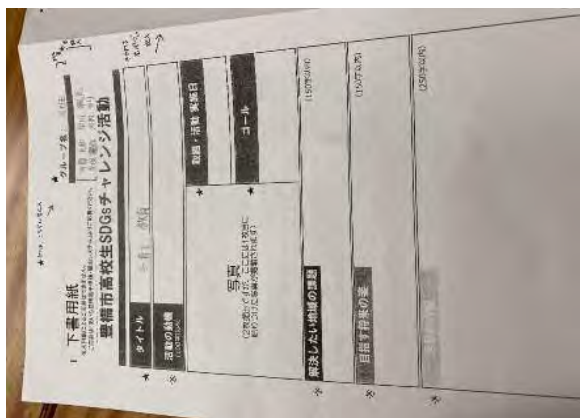
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 子育て 教育

活動の動機

待機児童や障害のある子供に関する問題について自分たちとも関係が深いので、何が出来ることがあるのでは無いかとおもったから



取組・活動 実施日

令和3年10月28日

ゴール

1 2

解決したい地域の課題

「障害のある子供達への支援」では、社会との交流を児童福祉法の元で促進しているが、1校あたりの教員の適正規模が下回っている学校が多いため、外国国籍の子供の教育(日本語教育)が疎かになっている。

目指す将来の姿

現在、高等学校は県が統括するため、障害を持つ子や外国国籍の子のための特別クラスが用意されていないことが多いので、このような特別クラスの設置、また、外国国籍の子や障害を持つ子との交流を経て学校ではどのような生活しているのかという現状を見ることで考えの幅を広げられるようにしたい。

活動の内容

豊橋市の子育て、教育上の問題をインターネットから情報を集めその問題に対して私達が意識すべきこと、どのように解決していけばいいかを総合の時間で班と話し合い、その情報を提示する。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋東高校2年1組2班 （ 2 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 豊橋市の食品ロスの現状について

活動の動機 外国の子供など、世界にはたくさんの方が飢餓で苦しんでいることを知り、自分たちにも何かできることはないかなと思っただけです。



取組・活動 実施日

令和3年8月23日

ゴール

1 2 9

解決したい地域の課題

僕達は食品ロスを解決しようと選びました。食品ロスは、食品の生産時、加工時、販売時、また飲食時など様々な場面で起こっています。その中でスーパーマーケットやコンビニでの食品ロスについて考えました。

目指す将来の姿

日本を始めとした先進国による食料の廃棄や、過剰な生産をやめ、限られた食品の生産量を有効的に配分することによって、世界中の飢餓の人々が十分な食事をとれる、また、SDGsのゴールになっている飢餓をゼロにや、ひとや、国の差別をなくそうを達成出来る世の中出来るよう日々努力していきたい。

活動の内容

豊橋市内の身近なコンビニやスーパーマーケットなど食品を扱う店舗においての食品ロスの量や割合また食品ロスを減らすために行われている対策についての現状を調べました。そして、得た情報は食品ロスの割合は、約0.32パーセントであり、夏場に多いことが分かりました。また、そのデータをもとに、仕入れ料を調節するなど対策を行っていることが分かりました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

米より麺派（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル カレーうどんしか勝たん

活動の動機

豊橋の名産品の具材の中に、地元で作られた農産物が含まれているかどうか、また、地元の名産品を提供している所は、どのようにPRしているか、さらに、地元をもっと盛り上げるために、取り組もうと思ったため。



取組・活動 実施日

令和3年9月10日

ゴール

2 8 9

解決したい地域の課題

豊橋の人が、名産品を日常で食べていない事だと考えました。そこで豊橋カレーうどんを取り上げてより身近に感じてもらうと思いました。この活動を機に豊橋カレーうどんがより豊橋の人に広まるといいなと思います。

目指す将来の姿

地元の名産品を提供したり、イベントを行い、地域の人々で世代を問わず交流を、深めていく中で、カレーうどんに興味を持ってもらい、地元の人々はもちろん、全国の人々にもカレーうどんを知ってもらい、地元の名産品から全国の名産品へと進歩させること。

活動の内容

豊橋の名産品であるカレーうどんを提供している店に電話をして、「どんな人に食べてもらいたいのか」、また「はたらきがい」、「カレーうどんの中の具に地元で作られたものが入っているか」、さらに「カレーうどんを知ってもらうためにどのような取り組みをしているのか」という4つの質問をしました。これらの事をふまえて、自分たちなりに地元をより盛り上げるためにどのようなことをするべきかを考えました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

広島東洋チョコレート（5人）

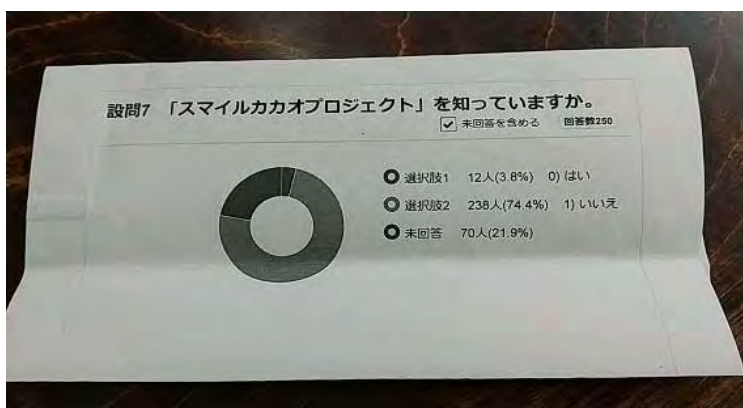
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル スマイルカカオプロジェクト

活動の動機

私たちは学校の総合の時間にSDGsについて考える機会があり、目指すべきまちづくりの基本計画や地域の課題をインターネットで調べていくうちに、豊橋の産業に疑問を抱き、産業をテーマに活動することにした。



取組・活動 実施日

令和3年6月2日～10月6日

ゴール

2 9 10

解決したい地域の課題

豊橋市がおみやげが少ないことが問題となっている。その中で僕たちは、豊橋で有名なブラックサンダーについて調べた。これはアフリカの人々を援助する事業に関わっているので、僕たちもこの事業を推奨したい。

目指す将来の姿

豊橋のおみやげが少ない現状から、豊橋が発祥の地であるブラックサンダーの知名度を上げ、全国から人が買いに来るような町を目指す。そこからさらに、ブラックサンダーの事業が取り組んでいる、スマイルカカオプロジェクトを宣伝し、たくさんの人に知ってもらうことで、SDGsの活動について貢献する。

活動の内容

私たちはSDGsの活動で、豊橋市の産業について調べた。産業についてインターネットで調べていると、日本に輸入されているカカオ豆の約7割がガーナであることを知り、そこでブラックサンダーを使って、スマイルカカオプロジェクトという企画が、行われていることにたどり着いた。校内でアンケートを行ったところ、この企画を認知している人は、約3%ほどであり、多くの人に知ってもらおうと活動した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

フード戦隊バンクマン（4人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 西高フードバンクボランティア

活動の動機

福祉関係の進路を志望している生徒向けに開かれた講演会で、東三河フードバンクの方の、食品ロスを減らし、誰もが豊かな食事に恵まれて欲しいという言葉に感銘を受けたため。



取組・活動 実施日

令和3年10月21、22

ゴール

2 3 12

解決したい地域の課題

一人親世帯、高齢者、外国人留学生など食べ物に困る人をなくしたい、食品ロスを削減したい

目指す将来の姿

一人親世帯、高齢者、外国人留学生など、食べ物に困っている人に食べ物をとどけ、企業や福祉団体などと協力することで食品ロスを減らす。そうして、もったいないと言いつつ食品を捨てること、仕方が無いと言って食べることを諦めることの無い将来を目指したい。

活動の内容

豊橋西高校の文化祭前日、当日の2日間でPTAの方々と協力し、ダンボール12箱分もの食品や日用品の回収をしました。昨年度から2年連続で西高フードバンクボランティアを開催しましたが、昨年度よりも多くの食品、日用品を回収することが出来ました。豊橋西高校で回収された食品や日用品はNPO法人東三河フードバンクへ寄付しました。